Raspberry Pi デモ WEB アプリ インターフェース仕様書

Rev. 1. 00 ラトックシステム株式会社



1. はじめに

本仕様書はクラウドサービスを利用したデモ用 WEB アプリに関して、デバイスや PC との通信インターフェースに関して記載する。

2. 製品名称及び型番

名称:Raspberry Pi クラウドデモ WEB アプリ

3. 開発環境

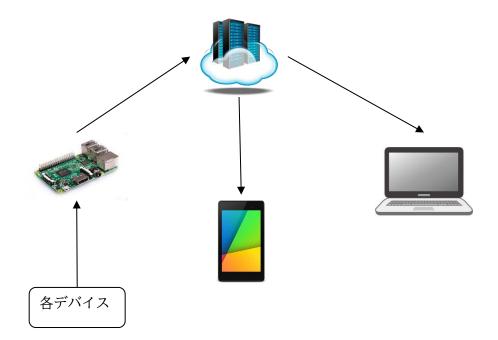
本ファームウェアの開発環境を以下に示す。

表 3-1 サーバー環境

項目	名称	備考
0S	ubuntu 18.04LTS	
WEB フレームワーク	Ruby on Rails	



4. システム構成





5. 機能詳細

5.1. 機能一覧

デモ WEB アプリが持つ機能を下記に記す。

表 5-1 機能一覧

No.	機能	内容
1	データ保存	Raspberry Pi からのデータ POST によるデータベースへの
1	アータ1 木仔	格納機能
2	一、 4月日日左	Web ブラウザからの格納データの閲覧(一覧表示、グラフ
۷	データ閲覧	表示)
3	データ取得	PC アプリケーションなどからのデータ取得



6. API

6.1. データ保存

6.1.1. 通信方式

HTTP の POST 通信により JSON 形式にて保存するデータを送信する。一度の複数 個のデータ保存を可能とする。データの通信先アドレスを下記に記載する。

AWS の通信先アドレスは、EC2 サーバー起動のたびに変更のためその都度確認する。

データタイプ	URL
回転データ	http://[FQDN]/rotations.json
WBGT 指標データ	http://[FQDN]/wbgts.json
RPi-GP10	http://[FQDN]/gp10s.json
RPi-GP40	http://[FQDN]/gp40s.json

6.1.2. データフォーマット

6.1.2.1. 基本フォーマット

POST するデータフォーマットを下記に記載する。データタイプごとのデータは次項以降の内容を指定する。各データにある測定開始日時は 1 回測定で複数データがある場合に 1 個目の取得日時を設定することで、複数のデータを一つのグループとして認識する。

キー名	データ	值	
	型		
type	文字列	データの種類を rotation, wbgt, gp40, gp10 のいずれ	
		か指定	
item	ハッシ	登録データ	
	ュ		
machine	ハッシ	RaspberryPi の情報	
	ュ		
mac	文字列	RaspberryPiのMACアドレス(xx:xx:xx:xx:xx)	
data	配列	データの種類ごとのデータ	
各データ	_	データ内容は次項以降参照	



6.1.2.2. 回転データ

No.	キー名	データ型	値
1	rpm	浮動小数点	回転数 [rpm]
2	angle	浮動小数点	停止角度[度]
3	date	文字列	データ取得日時[IS08601 フォーマット]
4	beginning	文字列	測定開始日時[IS08601 フォーマット]

6.1.2.3. WBGT 指標データ

No.	キー名	データ型	値
1	black	浮動小数点	黒球計の計測データ [摂氏]
2	dry	浮動小数点	乾球温度の計測データ [摂氏]
3	wet	浮動小数点	湿球温度の計測データ [摂氏]
4	humidity	浮動小数点	乾湿温度計の計測データからもとめた湿度
			[%]
5	wbgt_data	浮動小数点	WBGT 指標データ [摂氏]
6	date	文字列	データ取得日時[IS08601 フォーマット]
7	beginning	文字列	測定開始日時[IS08601 フォーマット]

6.1.2.1. RPi-GP10 データ

No.	キー名	データ型	値
1	di	整数	デジタル入力(8bit 分の入力を lbyte の数値
			で表現)
2	date	文字列	データ取得日時[IS08601 フォーマット]
3	beginning	文字列	測定開始日時[IS08601 フォーマット]



6.1.2.1. RPi-GP40 データ

No.		キー名	データ型	值
1	ads	S	配列	8ch 分データ配列
		channel	整数	ch 番号 [0 - 7]
		value	整数	ch 毎の AD 値
		range	整数	ch 毎の入力レンジ。設定値は下記参照
2	da1	te	文字列	データ取得日時[IS08601 フォーマット]
3	beg	ginning	文字列	測定開始日時[IS08601 フォーマット]

設定値	レンジ設定
0	±10V
1	±5V
2	$\pm 2.5 \text{V}$
3	±1V
4	$\pm 0.5 \text{V}$
5	0 - 10V
6	0 - 5V
7	0 - 2.5V
8	0 - 1V



6.2. データ取得

6.2.1. 通信方式

HTTPのGET 通信によりデータ取得を行う。データはJSON形式にて取得する。 GET パラメーターに検索条件を設定することで条件に一致するデータのみを取 得可能とする。パラメーターを指定しなかったときは全てのデータを取得する。 データの通信先アドレスを下記に記載する。

AWS の通信先アドレスは、EC2 サーバー起動のたびに変更のためその都度確認する。

機種一覧取得用

データタイプ	URL
機種データ	http://[FQDN]/machines.json

機種別データ一覧取得用

データタイプ	URL
回転データ	http://[FQDN]/machines/[machine_id]/rotation.json
WBGT 指標データ	http://[FQDN]/machines/[machine_id]/wbgt.json
RPi-GP10	http://[FQDN]/machines/[machine_id]/gp10.json
RPi-GP40	http://[FQDN]/machines/[machine_id]/gp40.json

[machine_id]には機種一覧で取得した機種ごとの、machine_id を指定する。

データー覧取得用

データタイプ	URL
回転データ	http://[FQDN]/rotations.json
WBGT 指標データ	http://[FQDN]/wbgts.json
RPi-GP10	http://[FQDN]/gp10s.json
RPi-GP40	http://[FQDN]/gp40s.json



6.2.2. 検索パラメーター

GETパラメーターの仕様を下記に記載する。

キー名	データフォーマット	内容
date	YYYYMMDD	取得対象の年月日
from	YYYYMMDDhhmmss	取得対象の開始 年月日時分秒
to	YYYYMMDDhhmmss	取得対象の終了 年月日時分秒

from と to はペアで設定する。date と from, to ペアは排他設定とする。両方設定があった場合は、from, to を優先する。

6.2.3. データフォーマット

6.2.3.1. 基本フォーマット

通信先 URL に対して GET で取得することで、JSON 形式の配列にてデータを取得できる。データ項目は POST 時のデータと同じ項目に追加して、登録した機種の machine id を追加して返す。

6.2.3.2. 機種一覧

データを登録している機種一覧を取得できる。機種データは mac アドレス毎に ユニークな machine_id を取得できる。

以上

